

うねの

議会だより

就学前まで乳幼児医療費補助 2 P

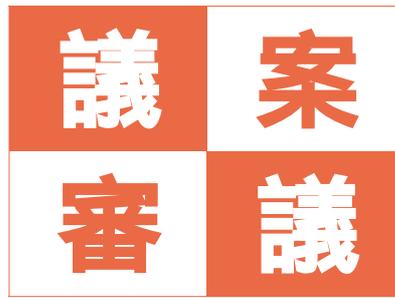
地域の声が続々と 8 P

梅雨でも熱い一般質問 14人 10 P

市民のために委員会は走る 20 P

涼を呼ぶ風^{かざはや}早溪谷（上岩屋）

6月 定例議会



平成18年6月定例議会が、6月9日から21日まで13日間の日程で開催されました。
提案された議案は、一般会計補正予算、水道事業会計、特別会計3件、条例制定は、政務調査費の交付及び乳幼児医療費の助成他10件。指定管理者の指定について2件のうち楠風館については否決となりました。
意見書「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」他1件。
決議「第31回オリンピック競技大会の福岡招致に関する決議」他2件。
採択しました。

**補正予算 4億4,295万3千円を追加し、
予算総額110億6,414万7千円になる**

6月の主な補正予算

(単位千円)

	補正額	説明
議会費	3,970	議員政務調査費 H18.7月～H19.3月
総務費	20,367	行政診断委託料。欠員補充を人材派遣会社より雇う。
民生費	97,461	乳幼児医療助成費(就学前までの医療補助) 36,551 児童手当 60,910
衛生費	8,504	廃プラスチック再生処理
商工費	2,331	観光費(20分のビデオ、DVDの作成)
土木費	59,200	一般市道改良工事費 2,700 急傾斜地崩壊防止事業費 12,700 他
消防費	5,644	小型動力ポンプ積載車(谷所、上久間)
教育費	126,375	大野原小・中学校体育館建設積立金(防衛庁80%負担)

活力ある街づくり

市民の負託にこたえよ 議員へ政務調査費 月額2万円

議員に対する政務調査費の交付に関する条例を制定しました。

政務調査費は、月額2万円とし、年度を半期にわけ、各年度の4月1日及び10月1日に交付するものです。

調査費の用途基準は、議員がおこなう、調査研究活動のために必要な研究会、研修会の開催に要する経費。

先進地視察または、現地調査に要する旅費、宿泊費などの経費。

資料の作成に要する印刷費、事務機器の賃借料などの経費。

図書、新聞、月刊誌、などの購読料及び購入に要する経費です。

政務調査費の交付を受けた議員は、当該年度分の政務調査に係る収支報告書を作成し、支出明細書及び領収書を添えて、毎年4月30日までに議長に提出します。

議長は、支出が正当であるか厳格に審査し、妥当であれば受理します。

議員は市民の負託に応えるよう、尚いっその努力が期待されます。

指定管理者に

志田焼の里振興会

指定管理者制度は、地方自治法の一部改正（平成15年9月2日施工）により多様化する市民ニーズにより効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減などを求めることを目的として導入された制度です。

志田焼の里博物館の指定管理者に「志田焼の里振興会」が指定されました。

各方面の市民参加による団体が、地域振興と施設存続の理念を掲げて運営に参加されることは、何よりも望ましいと考えます。

陶芸、歴史、販売、経営の経験者も参加し、万全の体制を整えられ、運営に並々ならぬ熱意を持っておられることを考慮し、指定に同意しました。

今後は、地区の協力も得ながら頑張っていたきたいと思えます。



民間の活力が期待される志田焼の里博物館

整備が進む 福祉ゾーン



開校に向け整備される市道

仮称県立南部養護学校が、平成19年4月開校に向けて、工事がおこなわれています。

それに伴い、県道大木庭武雄線への取り付け道路として、千堂大黒丸線が予算化され、2700万円計上されました。

11月下旬に着手し、平成19年3月末に完成の予定です。

車道幅員6m、歩道幅員2・5mで計画され、来年4月の開校後は、子ども達が安心して通学できるものと期待します。

五町田地区での養護学校開校は、近隣市町で障害児を抱えておられる保護者の方や、障害に苦しむ子ども達の負担を少しでも軽減できるものと考えます。

旧塩田町は、五町田地区を福祉ゾーンと定め、着々と整備を進めてきました。

さらに充実していくためには、小児医療施設の併設が必要と思えます。

早期に実現できるように、県に対して働きかけが重要です。

今回、地権者の協力をいただき道路整備を進めることができ、関係各位に感謝を申し上げます。

これまで、医師や救急救命士など、特定の者しか認められていませんでしたが、平成16年7月から、一般の方の使用が可能となりました。

操作は簡単で、機械が操作手順を音声で知らせてくれます。

緊急の場合、救急車を呼んで現場到着までには約6分かかるため、現場で1分1秒でも早くAED

また、嬉野温泉旅館組合を通して、5軒の旅館にたいし、2分の1の補助で設置が予定されています。

これに先だって6月14日、嬉野市公会堂で、嬉野消防署の指導により、PTA・子どもクラブの指導者・各区体育指導員・教職員の皆さんを対象に、AEDの取り扱い説明がおこなわれました。

生命をすくえAED



配備される医療機器

AED（自動体外除細動器）とは、心臓の拍動が正常でなくなり、心室の筋肉が勝手ばらばらに興奮している状態が起こった者に対し、心臓に電気ショックを与え、除細動をおこなう機器です。

Dによる除細動をおこなうことが必要です。

今回、市役所本庁・総合支所・嬉野保健センター・市内小中学校・嬉野保育所など、貸出し用も含めて17台が配備されます。

少子化に 歯止めを



子どもの健康はみんなの願い

乳幼児医療費助成の範囲が（歯科については就学前まで）3才未満児までだったものを、就学前の児童まで拡大します。

少子化対策の一環として、子供を持つ家庭の医療費負担を軽減し、子育てを支援するものです。

今回の補正額は、対象児童831名で、365万1000円です。

少子化対策は、県・市町村によって取り組みかたに温度差があります。

ちなみに、県下で就学前児童までを対象にして自治体は、唐津市を始め3市4町が取り組んでいます。

また、出生率がアップしている自治体では、診療所と保育所の併合・第3子の保育料を無料・中学校までの医療費を無料・公営アパートを安くするなどの取り組みがされています。

医療費助成を県下の中で早期に導入されたことは、大変評価されます。

しかし、保護者は病院の窓口で通常通り医療費を支払い、一カ月の領収書か証明書を添付して、福祉課に提出しています。将来的には保護者の利便性を考えて、病院窓口で申請できるようにしなければいけないと思われま



西部コロニーでつくられたアルプホルン

平成18年9月に 合併記念事業を開催

合併した両町の日も早い融和を図るための事業として、本年9月に合併記念事業が実施されます。

9月2、3日には、全国から参加チームを募り、杉の間伐材を利用して、長さ3・4メートルのアルプホルンの製作に挑戦し、最終日には完成品で演奏する、全国でも初めての「アルプホルン大会」が、嬉野市広川原キャンプ場で開催される予定です。

9月26日には、全国9自治体が連携して、防災と消防団をテーマとした「ミュージカル」地震・カミナリ・火事・オヤジ」を上演し、市民のみならず

に良質な文化に触れる機会を提供するとともに、消防団への理解と防災意識の啓発を図り、出演者と地域住民の交流の場を設けるものです。9月30日には、合併記念式典と地域づくり講演会が開催される予定です。

あなたの夢は なんですか？



マーチングの練習に励む子どもたち（嬉野小学校）

合併前の嬉野町では、平成10年から、小中学校の子ども達の夢をかなえるために、夢づくり支援事業を実施してきましたが、合併に伴い市内全小中学校を対象とすることになりました。11年度は吉田小でオカリナの演奏指導を受け、現在も引き継がれています。13年度は嬉野小のマーチングバンドが、福岡精華女子高校に指導を受け、これが契機になり全国大会に出場し、優秀賞を獲得しました。

15年度はプロ野球のダイエーホークスより、城島選手・新垣選手などから、小中学校の野球部200名以上の子ども達が指導を受けました。夢づくり支援事業は、地域住民の協力を得ながら、子ども達が自分たちの夢をかなえるために、主体的に事業に参加し、自主性・協調性を養っていく事業です。あなたの夢はなんですか？夢を実現するには、みんなの努力が必要です。

生き残りをかける 中山間地域

市内の西吉田地区で、西吉田機械利用組合が7月に設立されました。

当地区は、耕作地の高低差が激しく、作業条件の悪い中山間地域の集落営農を推進するモデル地区を目指します。

今回、新たな米政策対策事業を利用して、自脱型コンバイン（2条刈）を1台。

乗用トラクター（22馬力）を1台導入する予定です。

参加農家数は35戸、耕作面積は16畝、水稻作付

面積は11畝です。この制度は県が2分の1、市が10分の1で、全体予算の5分の3が補助対象となります。

今後、西吉田地区では、中山間地直接支払交付金などを併せて利用して、田植え機・畦塗り機などを購入し、一貫作業体系を目指します。

また、集落営農組織の体制づくりを推進するとともに、中山間地における良質米の生産を目指すものです。



山間部の水田風景（西吉田地区）

討論 / 採決

条例 予算

平成18年度一般

会計補正予算案に



安全と少子化に配慮

野副 道夫 議員

今議会に提出された補正予算4億4295万3000円の大半は、基金からの繰入金と、雑入で賄われており、財政の厳しさを物語っている。そのような中で歳出は教育費で、1億4600万円を学校建設基金として積み立て、民生費、1億2600万円は、介護保険負担金、乳幼児医療助成及び、児童手当の支給年齢の拡大であり少子化時代に即した予算である。

また土木費では、県道事業に対する負担金、一般市道の新設改良、急傾斜地崩壊防止など、市民の利便と安全を考慮されたものと理解する。

また一方では両町の融合促進の考え方も伺えるが一部には不満も残しながら全体としては評価できるものであり、当予算案に賛成するものである。

賛成



行政診断・監視カメラ設置に疑問

山田伊佐男 議員

反対

行政診断に500万円の予算措置は、本来なら各課・職員全体で現状把握をし、問題点をピックアップすべきだ。

そして無駄を消去することが先決で、民間に行政診断をお願いし、業務量と要員を割り出すことに疑問だ。

職員一人一人が自らの業務のなかで省力化を図るといふ視点がないかぎり改善に繋がらない。

また、監視カメラ設置（市役所に18台）に500万円の予算措置は拙速すぎる。

外部からの圧力に対する対抗手段とのことだが、本市と意を同じくして設置した自治体は皆無だ。苦情処理の対応を再度検討すべきだ。

子ども達を守らなければならぬ学校でさえ未設置ではないか。

		賛否表																						
		番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
		結果	表決数	小田 寛之	大島 恒典	梶原 睦也	秋月留美子	園田 浩之	副島 孝裕	田中 政司	川原 菊男	織田 典子	芦塚 典彦	神近 勝彦	太田 重喜	山口 榮一	野副 道夫	深村 繁雄	副島 敏之	田口 好秋	西村 信夫	平野 昭義	山田伊佐男	山口 栄秋
政務調査費の交付に関する条例について	可決	21:0																						
男女共同参画審議会設置条例について	可決	20:1																						
地域コミュニティ審議会設置条例について	可決	21:0																						
リーディング事業審議会設置条例について	可決	20:1																						
乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	21:0																						
研修センター条例の一部を改正する条例	可決	21:0																						
指定管理者の指定について（志田焼の里博物館）	可決	21:0																						
指定管理者の指定について（楠風館）	否決	0:20												除斥										
平成18年度嬭野市一般会計補正予算	可決	16:5																						

は賛成 は反対 欠は欠席

楠風館の指定管理者・指定について

山田伊佐男 議員

反対

道路、河川、教育施設以外は指定管理者に移行でき、利権の温床となる危険性が伴う。

税金で造った施設が民間の金儲けの手段にされ公共サービスの低下が懸念される。

この施設を費用対効果でとらえる姿勢にも疑問だ。

合併して5ヶ月、今こそ、この施設を新市民の住民活動、交流促進の核として伝統文化を守り、人を育てる町づくりの拠点として、さらに観光情報発信基地として市が運営することに、大きな波及効果がある。

法の趣旨に則り、今回提案されたが議案審議で明らかになったように、公募から選考までの過程において、慎重な対応が欠落していたことを強く指摘したい。

公募から選考までの過程に疑問



利用増進を求められる楠風館

陳情 地域住民の声を第1に!!

請願・意見書

「義務教育国庫負担制度」の堅持を

請願者—— 梶山 厚
採択されました。

意見書
毎年、見直し、削減の趣上に登ってきたこの制度については、佐賀県議会をはじめ多くの地方議会からの声に、制度の根幹は堅持されてきたが、今年度、国の負担割合を2分の1から3分の1へと減額し、地方負担が増加し財政が圧迫されている。
この制度の廃止は保護者・地域住民の望みに逆行する。
本制度の堅持を強く要請する。
嬉野市議会議長 山口 要
内閣総理大臣 小泉純一郎様他4名



教室での楽しい授業(久間小学校)



守ろう地域住民の足

JR九州への支援策を

請願者—— JR連合会議長 手島 康人
採択されました。

意見書
JR九州は発足当初より営業の赤字は避けることができないため、経営の安定基金が設立され、その運用益と固定資産税等の減免措置による負担軽減によって赤字を補填してきたが、19年3月支援策が期限切れとなるので現行支援策を継続するよう強く要望する。
嬉野市議会議長 山口 要
内閣総理大臣 小泉純一郎様他3名

今寺 三坂区間の歩道設置を

陳情者—— 三坂区自治会長 山浦 健他
審査意見(採択)
担当課を通じて国に要請します。
産業建設委員会

平野バス停 平野橋の歩道設置を

陳情者—— 俵坂区長 山口 金男他4名
不動山・俵坂地区一部が未施設であります。
この区間は小中高生の通学道路として交通量も多く、安全な歩道を設置して頂きますようお願いいたします。
審査意見(採択)
願意は妥当と認めます。担当課を通じて国に要請します。
産業建設委員会



いつになったら安全な道に

演習場下流の水路の新設及び改良を

陳情者—— 基地協力会副会長 前田 宗久他4名
演習場に降った雨水が下流の水路に流れ込み、近隣の茶畑や水田に土砂災害を起こし、崩落などの危険が予測されます。排水路の新設と改良をお願いします。



演習場から民有林に流れ込む雨水

審査意見(採択)
願意妥当と認めます。工事については担当課に申し付けました。
産業建設委員会

「非核平和自治体宣言」の決議を求める

陳情者—— 原水禁佐賀県協議会会長 緒方 克陽
広島・長崎の原爆投下の日、20万人の人々が亡くなり、今なお30万人の被爆者が苦しみ続けておられます。
日本国民と人類が平和な未来をむかえるためには、核兵器の廃絶と核戦争反対を訴え続けなければなりません。
審査意見(採択)
願意妥当と認めます。担当課にその旨申し付けました。
総務企画委員会

公共工事の地元業者優先指名を

陳情者—— 杵藤会 中島建設他4名
不採択
産業建設委員会

一般質問

14人が

市政

に喝

議会をテレビで
ご覧ください。
放映日時については
議会事務局へ
(0954 - 66 - 9127)

平野 新市における基盤づくりの第一は、企業誘致活動を最優先課題として取り組み、歓声が聞かれる希望に満ちた新市づくりに努力すべきでないか。
市長 助役を筆頭に組織を固め、有効な施策を



企業誘致活動を最優先課題にせよ

平野 昭義 議員

答 助役を筆頭に組織作りを図る

図っている。また、県担当課・市職員と私も同席し、進出企業との意見交換もおこなっており、私自身がトップセールスマンとして努力していく。
平野 「団塊の世代」の故郷への帰還を積極的に支援する考えはないか。
市長 今後、団塊世代の方々の大量退職の時代が迫っており、積極的に取り組みを指示していく。
平野 企業が進出できる工場団地の造成は考えていないか。



増築が進む誘致企業

策が急務でないか。
市長 この件については、警察も鋭意努力されている。

市長 工場団地の造成は大きな投資になるので議会との十分な協議が必要。今の段階では、既存の企業の方の活性化が第一と考え、その中で増員して頂くことにより、雇用が確保される。そのような、地に足をつけた努力をしていく。

火災や窃盗・登下校時の安全対策を

平野 最近市内で、火災窃盗が多発している。また各地で子ども誘拐が発生している。児童の下校時の安全対

策が急務でないか。
市長 この件については、警察も鋭意努力されている。

平野 武雄市との境まで450mの区間に3ヶ所急カーブがある。

通勤、通学者が多く、朝夕の往来時には接触事故も多く発生し、町・地元区民の代表が数年前から要望し、当局も改良に努力すると回答されている。一日も早く改良工事を要望していただきたい。
市長 早速先日開催された、県との協議の際に申し入れをおこなった。安全確保が必要であるので、引き続き要望していく。

その他の質問
八幡川の魚道整備を

青色回転灯装備車で子ども達を守れ

梶原 睦也 議員

答 当面は1台を嬉野地区で配備

梶原 嬉野市は子ども安全を守る文部科学省の体制整備事業のモデル自治体となった。子供達の安全確保のために、学校・PTA・地域においては、防犯ブザー・110番の家・孫守り隊など様々な取り組み



みをしているが、防犯パトロールに使用する車に青色回転灯を装備することにより、一層の防犯効果が期待されると思うが。
市長 青色のパトロール制度についても導入をおこないたいと考えている。まず、総合支所を対象に

申請をしているところだ。
梶原 現実に1台装備されるということだが、塩田地区の方にはどういった形でおこなわれるのか。
市長 当面は1台を嬉野地区で活動させ、そして、成果を調整していきたい。

たい。保育園については、それぞれの管理の方が、ご自身で判断されると思っているが、行政としてはやはり必要と考え、設置をしたいと考えている。

成年後見制度を活用

AEDで市民の生命を守れ

梶原 嬉野市において公共施設などへ、設置がされることだが、AEDの講習会の開催また、市民へのPRなども必要ではないか。
また保育園への設置はどう考える。

市長 学校・公共施設の体育館などへ17台の配置を予定している。
ご意見のように、講習会や設置場所を明示する看板なども用意してい

嬉野市においても積極的に取り組むべきではないかと思うが。
市長 大切な施策の一つと考えている。
日常、活動している民生委員の皆様などと連携を持ち、制度の周知と徹底を図っていきたい。



動き出した青色回転灯つき公用車

茶品種許諾を急げ

太田 重喜 議員

答 西九州茶連で取り組んでもらっている



太田 改正種苗法への取り組みが現在どのようになっているかをうかがいたい。

この問題は、嬉野町の最後の町議会で、改正種苗法にかかる大きな問題だとして、茶の品種許諾の取り組みをお願いした。そのときの答弁は、早



大型機械化も進む茶業。(岩屋川内地区)

急な取り組みを検討する」との答弁をいただいたが、現在どのようになっているか。

市長 西九州茶連で準備を進めている。

太田 産地として嬉野が生き残るには、西九州茶連ではなく、行政で許諾を取るべきだ。

J Aや茶連で許諾を取ったら、そこに出荷しないお茶についての使用が問題とならないか。

市長 茶連と協議をお願いをしていく。

太田 茶連がノーといった場合、生産者が個々に許諾をとらざるをえない。

市長 仮定では、そのようになる。できるだけそこは円満に運んでいただくように協議をする。

太田 産地によっては行政が許諾を受けるように動いている所がある。

行政で取る事を考えて欲しい。

市長 私としては茶連とやっていく。希望は申し上げていく。

太田 J Aグループの農家の困り込みという問題も起きている。

場合によっては公正取引委員会との関係もでてくる。

だから「行政で」と申

している。

やぶきた老齢園と品種比較展示園

太田 今後の嬉野町の茶業の問題で、やぶきた種の老齢化園と単一品種での問題が大きいが。

市長 市内各地の茶園の多くがそのようなようになっており、生産者も非常に危機感を持っている。

改植についての推進策を担当課と検討したい。

所得を確保しながら改植を進めるため、幼圃確保をして進める、そういう点も研究していきたい。

太田 茶業青年会で、品種比較展示園開設を始めている、行政の支援は。

市長 できるだけ前向きな取り組みには支援したい、担当に指示する。

その他の質問

- ① 新規農林産物開発
- ② 農林道開設計画策定を記念植樹の森
- ③ 塩田川堤防の美観作り
- ④ ほたるマップ作成
- ⑤ 麦・稲わら有効利用
- ⑥

通学路の整備を急げ

川原 等 議員

答 平成18年度に完成



川原 国道498号線の南下久間地区に農地の里道を利用して通学路の整備を進めることになっているが、進捗状況が見えてこない。

子ども達の通学路が安全であるのは当たり前である。なぜ、進まないのか。

市長 路線の変更や測量の遅れなど様々な要因で遅れている。

市道冬野南部線は12月20日完成予定、また一本松・松籠線は本年度の完成を目指している。

川原 本年度とは、来年3月までか。市民の方がいかに通学路を要望されているか解かってほしい。

市長 市民の方、地域の行政嘱託員、対話集会で話をうかがっている。一日も早く完成させるために取り組む。

川原 センイレブンから樋口病院までの歩道を検討しているか。

市長 先日、県の土木と意見交換をし、検討してもらっている。

川原 円福寺からセイウ工業付近までの水路に蓋をかけて、歩道として利用できないか。

市長 私も現場を見て担当と協議をする。

県道万才塩吹間の通学路について

川原 歩道がないので川の方に単管パイプなどを利用して歩道を整備する



西村 高齢者の医療費負担は月の限度額が決められている。高齢者が医療機関の窓口で1割、一定所得以上は2割の支払い。一ヶ月に限度額を超えた場合は、市役所窓口で払い戻しを申請することになっている。

嬉野市の支給申請の実



一時期より受診者が減った待合室

態調査を明確にされたい。

市長 未申請者と未払い金額は旧嬉野町が55万、53万円・旧塩田町が390万、454万円。

嬉野市は132人、162万円である。

西村 制度改正の仕組み「償還手続き」を市民に周知徹底して全額払い戻

高額医療費の払い戻しを急げ

答 個人通知で償還手続きをする。

西村 信夫 議員

すよう手立てを尽くすのが自治体の責務である。

未申請者と未払い高額医療費の払い戻しの対応は、**市長** 旧塩田町の皆様には連絡徹底が不十分であったと思う。

未申請者には改めて個人通知を行い、償還手続きをする。

今後は、回覧板や市報などで住民への周知を図る。

介護保険制度について

西村 今回の改正で杵藤地区の介護保険料基準額が(年額6万1476円、月額5123円)41割アップ、県下1位。年金生活者の高齢者にはかなりの負担増で、これ以上の引き上げは限界である。

3年後の保険料はどうなるのか。

市長 介護保険料は県内

では高くなっている。予想以上の高齢化社会の進展と施設介護の増加が要因と考えられる。

3年後の保険料は第3期事業計画の期間内の推移に基づいて算定することになり、現在は予想できない。

防災行政無線(戸別受信機)の整備

西村 地域住民への情報伝達など非常災害時における通信手段の確保のため、防災行政無線(戸別受信機)の役割は極めて重要である。

既に塩田町は全世帯に整備済みであり、行政全般の情報伝達などにも活用されている。

嬉野地区全世帯にも設置すべきである。

市長 補助制度を活用して防災行政無線の充実化に向け早速検討する。



安全な通学はいつになるの。(南下久間地区)

か、塩橋を通るコースを考えるべきではないか。

市長 県と協議の結果、県の回答は、山側への歩道設置に向けて計画をし、今後、地元説明を行い、実現に努力する。

楠風館のトレーニングルームを活用せよ

川原 トレーニングルームに専門のスポーツ指導員を配置し、一人一人に合った運動量を指導してもらい、若い人から高齢者まで健康を維持できる

ようにしてほしい。

市長 将来的には、専門的な形で指導していくことも大事ではないかと思う。

塩田川西部公園の整備はどうなっているか

川原 公園整備をどのように進めるのか。

市長 まずは排水施設の整備に取り組み、運動広場としての機能の向上を検討する。

集落営農に対して 市の方針は

織田 菊男 議員

答 自主的に結成するのが 原則



織田 私が聞いたところでは、現在ある集落営農は、半分以上赤字経営と聞いている。

これが本当ならどのような指導をされるのか。

市長 集落営農に対して、レベルをどの位で設定するか、非常に難しい。赤字経営の問題は、どのように判断していくか、またレベルをどこに置くかで違いがある。

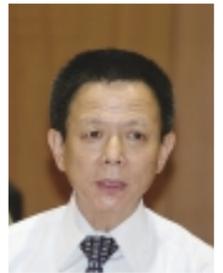
集落営農は、やはり自主的に結成するのが原則で、それぞれの集落のあり方、地域をどう守るといふ観点から取り組む必要があると思う。

副島 市長の懸案であった対話集會が、4月から5月にかけて塩田地区54区、27ヶ所で開催された。塩田地区全域を訪問し、意見を交換された感想は、
市長 各地区より貴重な意見をいただき、今後分

織田 農村の環境や農法にたいし、問題が起こっている平坦地での生態保全・水質保全・生活環境保全・地域排水向上などある。

お茶にたいしては、化学合成肥料・農薬散布回数・BT剤使用などある。

市長 今回の国の環境保全は、集落単位で取り組むことを求められている。農産物にたいしては、安全・安心できる品質のために、施肥量・農薬の散布の減などは、消費者の動向を十分検討して、取り組む必要があるのでは



対話集會の感想は

副島 孝裕 議員

答 総合計画への意見としたい

副島 市長の懸案であった対話集會が、4月から5月にかけて塩田地区54区、27ヶ所で開催された。塩田地区全域を訪問し、意見を交換された感想は、
市長 各地区より貴重な意見をいただき、今後分

析し、実現に向けて取り組みたい。
長期的には総合計画への意見として取り入れ、将来のまちづくりの提案としたい。

副島 対話集會の意見・要望のほとんどが多かったものから5点あげてもらいたい。
市長 1. ゴミ袋の回収、分別

審議会を立ち上げ対応していく。
副島 県道・市道整備関係で、五代から長谷間の対策は。
市長 今回の対話集會で初めて聞いた。県に伝えている。国道取り付けもあり、相当な事業となり、今後引き続き努力したい。



熱い意見が交わされた対話集會

問題。
2. 番目が水道関係、3番目が社会体育館関係、4番目が子ども

廃プラの回収を週1回おこなうよう改善した。県道への要望については、県事業説明会を開催し意見交換した。
子ども安全確保については、塩田町老人クラブ連合会の協力により、「孫まもり隊」が発足し、活動してもらっている。水道問題については長期に対応すべきで、水道

嬉野市独自のユニークな構想を立ち上げてはどうか。
市長 農業団体や農業委員会でも対応してきたが、なかなか実効があがらなかった。
杵藤広域圏組合で、ドリームキャッチ事業をおこなっているのが、広域で対応していきたい。



どうなるか？ 山間部の休耕田（上久間地区）

はないか。
織田 環境保全の補助金があるはずだが。
市長 まだこの補助金にたいしては、十分把握していない。19年度より導入すると聞いている。
正式に国や県より説明があれば、地域に出て行き伝達する。

市長 平坦地にたいしては、収穫増ということがひとつの目標となっている。また、全体的な共同作業への取り組み、給水対策が大切と考える。
お茶にたいしては、茶園農道整備、乗用摘菜機の導入、園地の整備が必要と考える。
茶工場の近代化、食品としての安全確保などが必要と考える。

効率的な生産体制は

織田 農業者の減少・高齢化の進行・規模拡大の遅れなどで、農業収入は平坦地、お茶とも減っている。

学校施設の耐震診断を急げ

野副 道夫 議員



答 年度を追って対応する

野副 公立学校施設における耐震改修の状況調査結果が公表された。
当市は耐震比率54・8割で、県内23市町で10番目になっている。
学校施設は、災害時に地域住民の、唯一の避難

場所としても使用する施設でもあり、安全で安心できる施設でなくてはならない。
市長 安全性の確保が大切であるので、でき得る限り対応したい。
教育長 学校の建設年度が40年度で改築の時期にきている。

野副 耐震診断実施率0割が県下1市5町ある、どう考えるか。
市長 財政的な課題もあるので慎重に取り組みざるを得ない。
野副 塩田中学校が改修された場合54・8割はどう変わるのか。
学校教育課長 71割から75割になる。
野副 まだ30割程残る。財政的な問題があるとされるが、人命にかかると問題である。
橋の一本ぐらいいは先取りしても耐震診断は優先すべきだと思つが。
市長 趣旨は十分理解する、そのように考えて取り組みたいと思つ。

野副 残り30割は市内の何校になるのか。
学校教育課長 8校になる。
野副 小城市では学校整備について、検討委員会を設置し議論をしていくと報道された。嬉野市では考えていないか。
市長 教育施設の整備については、いろいろ意見を見聞きがあるので、今後教育委員会などとも協議して対応したい。
野副 学校施設について何年ぐらいを目途に計画するのか。
教育長 耐震診断については、平成20年度までに必要な耐震診断を実施したい。



耐震診断を受ける塩田中学校

野副 耐震診断実施率0割が県下1市5町ある、どう考えるか。
市長 財政的な課題もあるので慎重に取り組みざるを得ない。
野副 塩田中学校が改修された場合54・8割はどう変わるのか。
学校教育課長 71割から75割になる。
野副 まだ30割程残る。財政的な問題があるとされるが、人命にかかると問題である。
橋の一本ぐらいいは先取りしても耐震診断は優先すべきだと思つが。
市長 趣旨は十分理解する、そのように考えて取り組みたいと思つ。

野副 小城市では学校整備について、検討委員会を設置し議論をしていくと報道された。嬉野市では考えていないか。
市長 教育施設の整備については、いろいろ意見を見聞きがあるので、今後教育委員会などとも協議して対応したい。
野副 学校施設について何年ぐらいを目途に計画するのか。
教育長 耐震診断については、平成20年度までに必要な耐震診断を実施したい。

野副 特に学校施設は、住民の皆さんも、安全だろう、安心できる」という期待感がある。
教育長 総合的に判断して、計画的に進めたいと思つが、施設としての基本的要件は安心・安全であると思つので財政当局とも十分検討しながら計画を立てる。
野副 災害は予期してくるとは、安全・安心のまちづくりを実現していただきたい。

新型交付税について 説明せよ

山口 榮一 議員

答 県内19団体がマイナスになると言われる



山口 国では2007年度から人口と面積配分による新型交付税導入が検討されている。
8割を人口、2割が面積とのことだが、報道によれば2005年度と比較すれば、佐賀県では247億円、県内の市町においても減額になると



緊急総決起大会は開かれたが(6/26 多久市)

言われている。地方の人口の少ない自治体は今以上に財政が厳しくなると思われる。地方の抱えている実情を踏まえた対策をされるべきだと考えるが、内容についてうかがいたい。
市長 国から見れば、交付団体を全体の3分の1程度までふやす交付税制度の変更をおこない、地方の自立を促進させることを目指していると説明があつていいる。
面積要件と人口要件を基準とする配分方式で、3年後には、総額15兆円規模のうち5兆円程度を充てると言われている。
山口 税源移譲について、3年間で5兆円とのことだが、年間どう割り振りされるか、おおよその見当はつくのか。
財政課長 不確かな状態の中だが、16年度からの第1期の三位一体改革のなかでは、18年度で大体2億3000万円程度が一般財源化されたら、嬉野市の当初予算ベースでは数字をつかんでいる。
市長 国と地方の税収の



神近 国道34号線で5月には、横断中の死亡事故やひき逃げ事件も発生した。国道事務所や市はどのような考えか。
市長 再三お願いしてきたが、具体的な成果がでていない。
事故が起きた箇所については、できる所から始めてほしいとお願ひした。所長からは、何とか考えていきたい、との返答はいただいた。



人身事故が続く国道34号線

県としては、全体的な予算の裏づけができていない事情もあると思う。
神近 この県道が完成すれば、一位原の交差点や国道34号線の歩行者の危険性が軽減される。しかし、昨年より地元への事業説明会が無い、予定は、まち整備部長 7月に説明会が計画されていると

答 成果がでていない

神近 勝彦 議員

歩道はいつできる

聞いている。

神近 市長・部長・課長は県と綿密な連携をとらなければ、いろんな事業はできないし、執行部の熱意がなければ地域の発展はない。
執行部に希望と期待をしている、その点を十分考えて行動してほしい。



大島 集落営農については、水田利用型の塩田地区、米の単作型の嬉野地区それぞれに取り組みされており、生産者の意識にも温度差があるように思われるが、どのような方向性をもって推進していくか。
市長 地域リーダーの選出、話し合いの体制づくり、次に地域の現状把握と問題点整理、組織化の方法などにつ

いて課題解決へ協力しながら推進していく。
大島 中山間地農業においての嬉野市の今後の取り組みをどうする。
市長 国の中山間地直接支払事業とあわせて集落営農体制に進まなければならぬ。
集落全体で話し合い、地域の特性を活かし、農業を存続していくため行動していただくようお願いしていく。

答 積極的に支援していく

「ふれあい住宅」中山間地農業

大島 恒典 議員

大島 嬉野地区の中山間地区において、集落営農については条件的に非常に困難とおもわれる。
まずは緑茶の振興をはかるべきではないか。
市長 今まで以上に茶業の生産と効率化に積極的に施策を展開させていく。
「ふれあい住宅」について
大島 入居申込者が多かったように思うが、入



すばらしい環境のふれあい住宅。

居者選定にあたって適正な配慮がなされたか。
まち整備部長 家族構成生活の困窮度合などを考察した上での抽選という形になっている。
大島 ふれあい団地の2期工事について計画があるとの事だが、定住化人口を増やすためにも子育て世代や若い夫婦の方などに特定した団地の計画ができないか。
市長 民間の住宅なども

比率を将来的には国4、地方6、ということを目指して税源配分の見直しをおこなうということである。
宅老所に補助を
山口 宅老所はお年寄りが認知症になる前の必要
な時期に家庭的な雰囲気の中で楽しく過ごしてもらいたいのではないかと思う。
厳しい中で運営がされていると思われるが、いくらかの補助ができないか。
市長 宅老所というのは、NPOであろうと相当公

的の意味を持った施設であり、一度開設すると相応な負担にならざるということ、しっかりと計画を作ってくださいと話をしていいる。
個々の日常の問題について補助することは制度的に非常にむずかしい。
厳しくなった駐車違反
神近 6月1日から道路交通法が改正されて、駐車違反が厳しくなった。駐車を持たない商店街としては死活問題である。商店街と行政は、この

ことについてどんな対策を考えているのか。
商工観光課長 商店街と嬉野警察署で、昨年話し合いを持たれている。方法として、地域住民の同意があれば、駐車禁止を解除できるとのことであった。しかし、違法駐車の懸念が新たに発生
する。
神近 夜間は駐車禁止にする時間帯制限の解除は可能か。
商工観光課長 時間帯制限については、尋ねていない。以前、片側通行の検討をされたが、うまくいかなかった。
ふまえて、慎重に対応しながらやっていく。



山田 政治倫理条例は、公正で開かれた民主的な市政の発展を願う市長、助役、教育長、議員が市民全体の奉仕者として倫理の向上を求めるものである。

また、不祥事を防止する抑止力となる。

今後の制定の予定は、市長 旧塩田町で制定をされていた。

各自自治体の資料を収集し、市民の意見を参考に条例制定に努力したい。

山田 助役、教育長も関連するが、条例制定について、どう考えるか。

助役 今後、議員各位と相談して検討すべきだ。

教育長 政治倫理は、職務を推進する上で有効だと考えている。

山田 三役は必要性を認められた。

今後、議員と協議して旧塩田町の政治倫理条例を基準に見直しも含めて

政治倫理条例を制定せよ

山田伊佐男 議員

答 制定に努力する

考えるべきだ。

山田 商店街の空き店舗は増加している。観光立市の嬉野として大きな課題だ。

空き店舗を利用した新たな起業に期待をするが、市の新たな支援策が考えられないか。

市長 空き店舗活用事業などについて紹介をしていきたい。

今後、商店街の会議などで提起をしたいと思っている。

山田 市独自でテナント料の半額補助や人件費の補助は考えられないか。

市長 以前、融資制度に対する補助をおこなっていたので再度研究をしたい。

障がい者に就労支援を

山田 自立支援法が制定され負担増により厳しい状況だ。

障がい者の就職差別をなくし、働きやすい環境整備が求められている。就労支援に対する考え

市長 障害者生活支援センターと連携をとり支援をしていく。

障害者の皆様と意見交換をおこな

い、就業相談

の機会を持ちたい。雇用促進についても努力をしたい。

その他の質問

学校2学期制

子ども達の安全確保

不登校対策として適応

指導教室の設置を

教員のFA制度の問題



景観を考えたまちづくりの例

景観行政団体としての取り組みは

秋月留美子 議員

答 総合計画策定後に取り組み

た。



ぜひ古湯温泉再生と並行して景観計画の策定、計画区域の指定を進めるべきだ。

秋月 3月議会で景観計画の取り組み状況についての質問で、古湯周辺を中心に県との調整を済ませた、との回答だった。

古湯と温泉公園地区は市民参加の委員会、協議会を立ち上げ、調査検討をおこなない、景観計画を策定する担当部署の確定や庁内での連携の確立、既存の計画との照合をおこなわなければならない。2年程かかると思う。

秋月 2年後では遅いし、他市に先駆け、いち早く同意を受けた意味が無い。武雄市は温泉街、御船山、黒髪山の景観条例を策定する予定と聞く。

嬉野町より遅く景観行政団体となった唐津市、由布市も合併後、早くも策定が成されている。

観光、商業の活性化のためにも一刻も早く取り組むべきでは。

市長 行政の責任のなかで、基本となるものは総合計画で、景観計画、策定もこれと並行しておこなっていく。

総合計画が固まった時点で景観計画もまとまっていくと考える。

健康保養地嬉野の現在のあり方は地域ぐるみの学校安全対策について

その他の質問

嬉小校舎真上の高圧線を移設できないか

園田 浩之 議員

答 問題なく必要ない



以上の結果が出ている。去年の6月に、英国プリストル大学の研究グループも、高圧線の近くで幼少期を過ごした人の白血病発症率は約2倍と同様の結果を発表している。

ことしの秋には、WHOが電磁波に関する新たな指針を発表し、今までの国際的には灰色扱いだった電磁波に、より厳しい基準値の検討を関係各国に促すそうだ。

ここまで公的機関が危険性を認めている今、小学校真上の高圧線の移設依頼という考えはないか。

市長 現在、私どもが得ているデータについては問題ないので、移設の申し入れはしない。

園田 高圧線の鉄塔を1基移設するのにかかる費用を知っているか。

市長 存じていない。

園田 九州電力の説明では、1基鉄塔を移設する費用として、2000万円から3000万円かかるそうだ。

校舎を回避するために最低でも前後の3塔を移

設しなければならぬ。1億円で何とか小学校真上の高圧線が回避できる可能性がある。

嬉野インター入口のリング状モニメントの建設費用が1億円超と私は聞いております。



校舎真上の高圧線(嬉野小学校)

健康保養地嬉野の現在のあり方は地域ぐるみの学校安全対策について

歓声の聞こえる 嬉野市を目指して 議会の機動調査隊は 走る

委員会レポート

市内各施設を調査

公的施設は 新市の宝!

総務企画委員会



楠風館を視察する委員

総務委員会は、5月26日市内の8施設、塩田町コミュニティセンター楠風館・伝統的建造物群の認定を受けた同地区の防災施設・古湯温泉の跡地などで、それぞれの施設における問題点など調査した。

大火で焼失している。町並の建造物群や、居蔵造りの大きな建物は、嬉野市にとって貴重な財産であるが、消火設備に不安があり、その対策を急ぐ必要がある。

嬉野温泉のシンボルである古湯温泉の再生は、リーディング事業で動き出しているが、今日の車社会にあつては、温泉公園を駐車場として活用できるようにしていくべきであり、今後の経営形態も含め議論をしていく必要がある。

コミュニティセンター楠風館には、樹齢300年を超える「楠」の大木が樹勢を失い、早急に樹木医の診断を受け対策を急ぐ必要がある。

旧長崎街道の町並は、国の伝統的建造物群の選定を昨年受けたが、昔

産業建設委員会

どうなる これからの 農業政策は?

白石町へ 杵島農業普及センター

集落営農の 取り組みを調査

集落営農について、杵島農業普及センター（白石町）を訪問し、集落営農組織設立の取り組みについて調査した。

センター管内では、集落営農の組織化について150の集落を目標とし

残り120の組織について、随時話し合いが進められている。嬉野市においては、塩田町の大牟田地区において5月31日に「大牟田営農組合」が設立された。現在塩田地区と嬉野地

区の平坦部を中心として組織設立の動きが進んでいる。

しかし、中山間地域については、直接支払い制度などを活用しながらコスト削減を図り、組織整備を進めるべきである。

また、集落営農についての組織設立は、理解を深めるために説明、啓蒙を積極的に進めるにあたって、現行の生産組合の再編も視野に入れていく必要があると思われる。そして、将来的には、より大規模な共単位での集落営農の形態も展望していかねばならないのではないだろうか。



集落営農普及に力を注ぐ杵島地区

文教厚生委員会

これでいいのか? し尿・ゴミ対策は

第1し尿処理場 (鹿島市) 柿畑クリーンセンター (武雄市)

世界中で地球温暖化や環境汚染が問題化され、その対策を論議また実行されている今日、市においても対応された事業が展開されている。

市の今後の生活環境改善や環境保全の推進を図るには、し尿処理やゴミ処理の現状の把握が必要と考えて、2施設を視察した。

し尿処理について

第1し尿処理場の能力は、建設当初は1日あたり110キロリットルであったが、搬入量の増加に伴い、施設の改造や処理工程の見直し、薬剤の添加



クリーンセンターで説明を受ける委員

などによって、130キロリットルまで増加させている。

各家庭の生し尿は、合併浄化槽の普及により減少しているが、全体での搬入量は年々増加傾向であり、計画的な搬入を各市町で連携し、施設への負担軽減が必要と考える。鹿島市、嬉野市の公下水事業の加入率が搬入量減に影響するので加入率促進を図ることが急務

ゴミ処理について

クリーンセンターは1日138トンの焼却能力があり、3基のボイラーはフル稼働状態。埋め立て処分場は、15年の耐用年数が既に経過している。

当初、地元と平成26年

までの稼働協定が結ばれており、その後の計画を早期にすべき状況にある。リサイクルや分別は推進されているが、可燃物は横ばい状況。

各家庭や企業のゴミ減量の促進が大きな課題である。

8月末までには次のことが調査されます。

- 総務企画 ○市内の消防活動について
- 文教・厚生 ○教育問題について
- 産業建設 ○観光問題について

オリンピックピックを九州へ

福岡においてオリンピックを開催することは、九州各地で取り組まれている国際交流の輪を一層強化するとともに、次世代を担う子どもたちに夢と希望を与えるものであり、また環境や自然に対して意識をさらに高めるなど、地域の発展に大きく寄与する。

地方の時代を迎えた今日、オリンピック招致の日、オリンピック招致の

実現は、地方の個性を伸ばし、九州の認知度を飛躍的に向上させ、九州一体となった発展に大きな意義を有するものである。

嬉野市議会は、「九州はひとつ」の理念のもと、福岡市と連帯のうえ、2016年第31回オリンピック競技大会の福岡開催実現に向けて支援することを表明し、議会初日に決議した。

議長交際費

平成18年4月1日～6月30日現在(単位:円)

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	2	20,000
御祝	1	5,000
会費	2	40,000
その他	5	12,240
計	10	77,240

- ・御祝い 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 公的性格を有する団体との協議会費
- ・その他の内訳
 - 他自治体からの視察時への支出(茶菓子代) 2団体来庁 6,240
 - 他自治体への視察研修(土産代) 3団体へ 6,240

その1秒が市民を守る

杵藤地区消防本部

6月9日に、議員全員・市長・鹿島警察署・農林・土木事務所・嬉野消防署・嬉野消防団(正副団長)・市役所関係者総計46名で防災パトロールに出かけました。

大雨の際常習水没地の三ヶ崎地区。18年度急傾斜地崩壊防止事業箇所予定下岩屋3区

17年度急傾斜地崩壊防止事業箇所完了

北大草野地区

また、杵藤地区広域市町村圏組合消防本部指令センターの視察で目を見張ったのは、火災・救急・災害に対して高度な集中管理とその対応の迅速さで、火事が発生したときのシミュレーションがありました。



重装備したレスキュー車の説明



高度化したシステムの説明

火災が発生したとき防災無線で、火もとが世帯主ではなく、「公共施設から何処の位置と放送されている」という質問に対し、「システムの都合上、自動的に音声合成装置で自動編集され、放送がなされている」との説明でした。

また、救助工作車(レスキュー車)の充実した装備の凄さには感嘆の声の連続でした。

市民の安心、安全な日常生活を守るために、

日々努力をされている関係者に感謝の気持ち一杯で帰路につきました。

議会広報編集委員会

- 委員長 園田 浩之
- 副委員長 平野 昭義
- 委員 太田 重喜
- 川原 重喜
- 副島 孝裕
- 小田 寛之